

ピックアップ★

外国人の子どもたちの 学びをサポートします

外国人と共にある群馬県

群馬県では、県人口の約3%を外国人住民が占めています。また、県全体の外国人住民は増加傾向にあり、さまざまな国から来日しています。

県内外国人住民数の国籍別上位5カ国

順位	国名	県内住民数(人)
1	ブラジル	12,191
2	ベトナム	8,174
3	フィリピン	7,984
4	中国	7,573
5	ペルー	4,559

群馬県に住む外国人住民の国籍は、ブラジルが最多で、最近ではアジア系の国が増えています。

平成30年12月
群馬県生活文化スポーツ部調査

県内の公立小・中学校466校のうち、約3分の1に当たる162校に2,812人の外国人の子どもたちが在籍し、学校生活を送っています。(平成30年5月1日時点)

このような中、学校において外国人の子どもたちの学びを支えていくことが重要です。

外国人の子どもが増加する中、各学校では日本語指導や学習指導の充実、共に学ぶための環境づくりなどが求められています。

国籍に関係なく、子どもたちが自分の将来を切り拓いていけるよう、学校ではさまざまな取り組みを行っています。

学校で行っている取り組みの例

日本語指導・学習指導

話せる日本語の程度に合わせて、日本語指導教室などで指導を行っています。

絵カードや模型などの教材を使用して、視覚的にも言葉の意味が分かるようにして、学習していきます。



日本語指導教室での学習
(太田市立宝泉小学校)

多文化共生意識の醸成

国籍や文化などの違いを認め合い、共に学ぼうとする意欲や態度を培うための取り組みを、授業や行事などの中で行っています。



自分のルーツの国の文化を紹介
(伊勢崎市立広瀬小学校)

●問い合わせ：義務教育課 027-226-4615

文化財ライブラリ

Vol. 14

県内最大級の戦国時代を代表する山城

国指定史跡
(令和元年10月16日指定)

いわ びつ じょう あと 岩櫃城跡

場所：東吾妻町
時代：中世(戦国時代)

岩櫃城は、標高800mの岩櫃山中腹に築かれた戦国時代から江戸時代初期の山城です。武田氏がこの地域を支配していた時代には、上杉氏の侵攻に備える軍事拠点でした。

また、長篠の戦いがあった天正3(1575)年以降は、真田昌幸が在城するなど、吾妻郡の中心的位置を確立しました。

武田氏が滅亡して、真田氏が沼田城を確保した本能寺の変後は、上野国の沼田と信濃国の上田をつなぐ中間拠点として最重要視され、上杉・北条・徳川といった巨大勢力に挟まれた真田氏の領国経営の拠点でした。

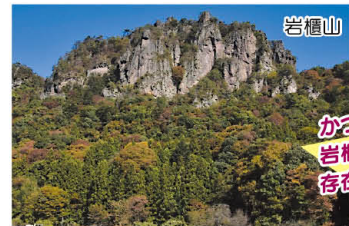
岩櫃城本丸址(岩櫃城の展望台と指揮台を兼ねた中枢部があったとされる場所)は、岩櫃山平沢登山口にある観光案内所から、徒歩20分程で行くことができます。



岩櫃山平沢登山口観光案内所
(12月～3月末まで冬期閉鎖)



岩櫃城本丸址



かつて中腹に
岩櫃城と城下町が
存在していました。



岩櫃城の最後…

江戸時代の元和元(1615)年に出された一国一城令により、城代の出浦昌相が現在の原町地区へ移住したことを機に廃城となったと考えられています。

一方で、慶長19(1614)年、岩櫃城に立った市の盛況さに徳川家康が不審を抱いたことから、謀反の疑念を晴らすため、真田信之(信幸)が岩櫃城を破却し、城下を現在の原町へ移転したという話も残っています。

●問い合わせ：文化財保護課 027-897-2925